

ハイランドレポート

(高原通信)

# Highland report !?

D.A.R.C 那須ケアセンター・ニュースレター

第2号(2003. 5.5)

## 3ヶ月たって

那須ケアセンター

施設長 栗坪千明

2月2日にこの黒磯市に施設を開設して早3ヶ月の月日が経とうとしています。その間大きな問題も無く過ごしてこれたこと、ハイヤーパワーに守られていることと感謝しています。そして周りで援助してくださっている皆様の方添えも私達の大きなパワーの源になっています。

開設当初から進めてきましたしいたけのほだ木の栽培も、皆様のご協力により会員数も80口を越え、とても盛況にスタートすることができました。4月5、6に行われた菌の打ち込み作業も県内をはじめ県外からも多数の参加者があり、多いに賑わいました。

最近はその那須ケアセンターのプログラムも、このほだ木作業が中心となっています。週に1~2回は山に入りほだ木を拾い集め、打ち込みをしています。そして作業の後には近くの温泉に入り、汗を流し、つかれた体を癒すという、充実した日々を過ごしています。

他の活動も進んでいます。近くの那須教会と大田原教会にも相談に行きましたところ皆さんわれわれの活動をご理解してくださり、アフターケアの場とも言える自助グループのミーティング会場についてもご協力を得

ることができました。

また、菌の打ち込み作業の時には那須家族会立ち上げの準備委員会も発足し、心強い限りです。

家族会のメンバーの中には（個人名は伏せさせていただきますが）彫刻家の方がおられ、創作活動にも私達が参加することが出来、メンバー一同ノミを持って木を削りました。

入寮者からの依頼により、茨城の家族会に伺ったときにパソコンの献品をお願い致しましたところ、すぐに福島の方が持ってきてくれました。皆、毎日パソコンの前に座り、今日はここまで出来たなどと、とても興味を持って接しています。あといくつかいただけるという話を頂戴していますので、何台かそろえばプログラムに出来るので楽しみです。

私は本当にこの大自然あふれるこの地はハイパーパワーに与えられた薬物依存者の回復の地だと思っています。これからここが無くなってしまふことがないように、周囲との連携や感謝の気持ちを忘れず、活動していきたいと思っています。



芸術家？



天然温泉はイイぜ



パソコンの前で



元気にほだ木

## ゆっくり、あせらず、

ケイスケ

自分は長男で小学校6年生までは、ちょっと妹や弟の多い、小学生だったと思います。あるきっかけから、私立中学へ行くことになり家族から離れて寮生活をするようになりました。寮の生活は、いままでの家族との生活とはまったくちがいで、中1から高3まで一緒にの学園で、自分にはいない兄や姉がたくさんいるような、とても楽しい生活でした。結局、楽しい事ばかり夢中になり、タバコ、お酒、ギャンブルばかりしていたため、1年で地元の公立中学校へ戻されたのですが、学校へはあまり行かず先輩と一緒にお酒を飲んだり、シンナーを吸ったり、たびたび警察に補導され、鑑別所や保護観察などの処分をされたけど、シンナーや夜遊びは続き、保護司



の紹介で中3の3学期から仕事を初め、中学を卒業して一人暮らし、仕事が始まりました。1年位は、仕事を普通にやっていたけど、1人での寂しさや自分のわがままで、昔のシンナー友達や女性と、遊ぶようになり、ふたたびシンナーを吸い始め仕事へ行かなくなり、クビになりました。実家に戻りシンナーを使いながら転々と仕事をしていましたが、どの仕事も3ヶ月位しか続かず、色々な人に親が相談して、ある会社に行くことになりました。その会社の社長は地元では、知らない人がいないくらい元不良の有名な人で自分と10歳以上はなれていて、名前やうわさ話は聞いて知っていました。初めのうちは「社長がこわい」という理由で、シンナーは止まっていたのですが、仕事になれてきて、上司や社員の人との関係もうまくいき、上司の人とお酒を飲みに行く機会がふえて、シンナーを吸いたいという気持ちが自然となくなりとても充実した生活が続いていました。けれど会社が、火事でなくなり職につかない生活が続き、いつ起きているか、寝ているか、わからない生活をしているうちに、法にふれる仕事をするようになり、精神病院に2回入院して、なぜ入院したのか、わからないまま同じ生活を続け、覚醒剤に手を出し、警察に捕まりました。2ヶ月間留置されて、執行猶予の判決を受け自宅に戻りました。その後2ヶ月位仕事もせず生活していて、気がついたら精神病院に入院していました。3回目の入院でした。

入院している時に、両親から「家族会に行くから」と言われ退院の日が急に決まり父親が迎えに来て、車の中で「家には入れない、施設に行くしかない」と言われ抵抗はしたけれど、処方薬をたくさん飲んでいて、あまり意味がわからないまま、茨城ダルクに連れて行かれ入寮しましたが、「こんなとこにいても意味がない」と思い、1週間でダルクを出ました。

地元にもどり仕事を探し、面接に行ったけど、断られ実家に行き親とよく話をして、自分でも「今はどうにもならない、家にも迷惑をかけて



しまうだけだ」と思いダルクに戻りました。3ヶ月位は、自分の病気に対して認められなかったけれど、すこしずつ薬物依存症だということと、躁病（入院の理由）だと、自分で認められるようになり、ダルクのプログラムを続けて

います。クリーンタイムが13ヶ月たちスタッフ研修をしています。スタッフになりたいと思って研修をしているわけではないので、あまり良くない事かもしれないけど、社会に出る自信がもてないので、施設にいるあいだ、自分にできる事、手伝いができるればいいなと思っています。自分を見つめなおして、あせらず、ゆっくり、1日、1日、とクリーンが続いていれば、なにか自分で気づいて、薬物を使わずに生きていけるかなと思います。

#### 5月の予定

メンバー		スタッフ	
10日	秋田ダルクフォーラム参加	10日	北星学園余市高校講演
11日	とちぎアディクションセミナー参加	13日	栃木県精神保健福祉センター ガイドポスト
17日	仙台アディクションフォーラム参加	18日	家族会準備委員会
		20日	栃木教会司祭のミサ
		30日	アルコール関連問題学会

週間プログラム

日	土	金	木	水	火	月	曜日/時間
起床 7:20 ・ 朝食 7:30							
● セルフケア	● ミーティング	● ミーティング	● ミーティング	● ミーティング	● ミーティング	● ● ミーティング スタッフ ミーティング	午前(九時～十時半)
	室内清掃・動物の世話・昼食 等						
	● セルフケア	● パソコン	● スポーツプログラム (那須S・スイミングドーム)	● 山林プログラム (軽作業)	● ● ステップ ミーティング コンゲーム	● ● ハウス ミーティング 洗車	午後(一時半～三時)
夕食							
● 須賀川カトリック教会 (第一日曜日)	● 施設ミーティング	● 施設ミーティング	● 施設ミーティング	● 那須教会	● 施設ミーティング	● ● 松が峰カトリック教会 (宇都宮) 郡山細沼教会	NAミーティング
就寝 23:30							



もみじ谷大つり橋の前で (上:ワタル、クニ、ケイスケ、ノリ、タツヤ、ケン、クリツポ)  
(下:パプア、トキ、トオル、ヨコ、デン)

## お礼

先月皆さんにお願い致しましたところ、布団やパソコンなどたくさん集まりました。ありがとうございます。

献金をいただいた方

サトウヒロム様 カワカミヒデコ様 ハヤシタカオ様 アオキケイコ様

献品いただいた方

宗形芳英様(パソコン)俵和子様(お米)川上悦男様(お米)

モリヤ様(洗濯機等)

## 献金のお願い

これから事務用備品などをそろえていかなくてもなりません、まずはコピー機を購入したのですが、リース契約ができず買い取ることになりました。

それから5月はいろいろなイベントに参加したいと思います。燃料代もばかになりません。千円でもありがたくおもいますので献金のご協力をよろしくお願ひします。

献金用の払いこみ用紙を同封させていただきます。